



2019年10月10日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也
(コード：6432 東証第一部)
問合せ先 取締役経営管理部長 小林 修
(TEL 0268-81-1200)

2020年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年4月9日付「2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)の通期の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

なお、2020年2月期の期末の配当予想につきましては、前回予想から変更ありません。

記

2020年2月期 通期連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 115,000	百万円 14,000	百万円 14,000	百万円 10,000	円 銭 209.66
今回修正予想(B)	115,000	12,300	11,900	8,700	182.43
増減額(B-A)	0	△1,700	△2,100	△1,300	—
増減率(%)	0.0%	△12.1%	△15.0%	△13.0%	—
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	110,175	15,411	15,496	11,391	238.83

修正理由

米国におきましては、天候不順の影響で外部顧客への製品出荷の一部が先延ばしされたこと、及び買入部品の調達制限の影響で米国子会社への製品出荷を制限したこと等により、上期の米国での売上高は計画未達となりました。米国の製品需要は高い水準を維持しており、上期の未達分は下期で回復を見込むものの、その全てを挽回するのは困難と予想したことにより、通期の米国での売上高及び販売台数は、前回予想を下回る見通しとなりました。

欧州におきましては、英国での販売は軟調なものの、その他欧州での販売が好調に推移しており、下期も引き続き好調を維持すると予想したことにより、通期の欧州での売上高及び販売台数は、前回予想を上回る見通しとなりました。

この結果、当社グループ全体としての通期の販売台数は前回予想を上回るものの、前提為替レートを円高に設定した影響で、通期の連結売上高は横ばいの1,150億円となる見通しです。

利益面では、前提為替レートを前回予想より円高に設定したこと、製造原価が上期で想定以上に増加し、通期の営業利益の予想に影響を及ぼしたこと、並びに運搬費や保証修理費等が前回予想以上に増加すると予想したこと等により、営業利益は17億円減少の123億円、経常利益は21億円減少の119億円、親会社株主に帰属する当期純利益は13億円減少の87億円となり、前回予想を下回る見通しです。

なお、第3四半期以降の前提為替レートは、1米ドル=104円、1英ポンド=127円、1ユーロ=115円、1人民元=14.5円としております。

(前回予想では1米ドル=108円、1英ポンド=140円、1ユーロ=122円、1人民元=15.9円)

(ご参考)

単位：百万円

地域別売上高	前回発表予想		上期実績	今回修正予想	
	上期予想	通期予想		通期予想	増減率
日本	270	690	338	740	7.2%
北米	31,820	53,480	27,612	52,620	△1.6%
欧州	31,590	59,050	33,601	59,960	1.5%
アジア	340	720	249	480	△33.3%
その他	480	1,060	659	1,200	13.2%
売上高	64,500	115,000	62,461	115,000	0.0%
営業利益	8,700	14,000	7,847	12,300	△12.1%
経常利益	8,700	14,000	7,510	11,900	△15.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,200	10,000	5,483	8,700	△13.0%

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上